

進路の手引き2026

中部中学校進路説明会資料
2026年10月29日（木）

目次

I	進路決定に向けて	1	9	広域通信制の高等学校・サポート校	28
II	これからの生活と学習について		10	愛知県公立特別支援学校高等部	29
	1 生活面での留意点	1			
	2 学習面への取り組み方	1	IV	就職について	29
	3 進路関係ロードマップ	3		1 縁故紹介による就職	29
III	令和9年度の入学試験（入学者選抜）について			2 公共職業安定所の紹介による就職	29
	1 国立高等専門学校	4		3 企業内学校(学園)を経ての就職	30
	(1)推薦選抜について	5			
	(2)学力選抜について	5			
	(3)その他	5			
	2 愛知県の私立高等学校	5			
	(1)推薦入試について	5			
	(2)特色入試について	6			
	(3)一般入試について	7			
	3 岐阜県の私立高等学校	9			
	4 愛知県の専修学校高等課程	10			
	5 愛知県の公立高等学校【全日制課程】	11			
	(1)推薦選抜について	12			
	(2)特色選抜について	14			
	(3)一般選抜について	16			
	(4)その他の特別な選抜	21			
	(5)第2次選抜について	22			
	6 愛知県の公立高等学校【定時制課程】	23			
	7 愛知県の公立高等学校【通信制課程】	25			
	8 愛知県の公立高等学校【フレキシブル ハイスクール】	27			

資料1 愛知県公立高等学校の通学区域並びに群及び
グループ分けについて

資料2 県立高等学校・特別支援学校高等部で使用する
生徒用端末について

I 進路決定に向けて

■ 価値ある生き方を考える

単なる進学先選びではなく、上級学校でいかに有意義な生活を送るか、さらには将来どのような生き方をするのか、お子さんの興味・関心、適性を考えた進路決定が必要です。

■ 主体的に進路を選択・決定する

進学するのか就職するのか、進学するならば普通科にするのか専門学科、総合学科にするのか、いろいろな視点で中学校卒業後の進路を考えてください。また、事前に校風や通学時間と方法、その先の進路などを把握しておくことが大切です。

■ 生涯にわたって活用できる能力や態度を身につける

進路を考えることを通して、今の自分に必要なことを具体的に考え、実行できるようになってほしいと思います。

■ ご協力をよろしくお願いします

学級担任だけでなく、学年主任や進路指導主事もいつでも本人や保護者の方の相談に加わります。3年職員を中心に中学校全体でよりよい進路選択ができるよう支えていきますので、ご家庭でも進路の方向性をよく話し合ってくださいよう、よろしくお願いします。最終的には、本人と保護者の方の考えで進路決定をすることになります。

進路について相談したいことがあれば、お子さんを通じていつでもご連絡ください。

II これからの生活と学習について

1 生活面での留意点

(1) 節度ある行動を心がける

- ・ 当たり前のことを当たり前でできる生活習慣(あいさつ、時間、身だしなみなど)
- ・ 善悪の判断(外出時のルールや交友関係など)

(2) 健康管理に努める

- ・ 夜型の生活を改め、朝型の生活リズムに(入試の時間を意識して)
- ・ かぜ・インフルエンザ・新型コロナ予防
(感染症対策を含めて、マスクの着用、手洗い・うがい、換気、バランスのとれた食事、十分な睡眠など)

2 学習面への取り組み方

(1) 日々の授業を大切に

- ・ 授業に集中し、効率よく学力を身につける。
- ・ 疑問点について、積極的に質問して理解できるように努める。
- ・ 技能教科の作業は時間内に仕上がるように努力し、提出物などの期限を守る。

(2) 家庭学習の工夫を

- ・ 毎日の家庭学習を習慣化する。適度に休息をとって、集中力を保つ。
- ・ 中学校の課題を活用しながら、自分に合った自主勉強の方法を見つけて力をつける。

(3) 入試の傾向と対策を

- ・ 中学校や家庭で、くり返し過去問を解いたり、面接やプレゼンテーションの練習をしたりする。
- ・ 先輩や家族、先生などから受験時のアドバイスを聞く。
- ・ マークシート問題への解答は自己責任。解答欄を間違えず、正しくマークすることも自分の力を表現するための技能として身につける。

3 進路関係ロードマップ

※日程は10月29日現在のもので、校内進路指導日程については変更になる場合があります。

校内進路指導日程

- 10/22(木) 4科テスト
- 10/23(金) 第2回 i テスト(マーク式)
- 10/29(木) 進路説明会

来春入試の受検(受験)について、進学や就職に向けた今後の日程や留意点などを具体的に説明します。

- 11/17(火)～18(水) 2学期期末テスト(5科)
- 11/25(水) ・2学期評定のお知らせ
・第3回進路希望調査
・推薦願[私立・高専・国立・専修]の配付 (11/26㍻)
- 12/1(火)～3(木) ・2学期個人懇談会(三者)
・推薦願[公立]の配付 (1/8㍻)

国立・私立・専修は受験校決定の場になります。

- 12/7(月) ・推薦委員会[私立・高専・国立・専修]
・推薦委員会の結果通知
- 12/9(水)～10(木) 学年末テスト
- 12/16(水) 第3回 i テスト(マーク式)
- 12/23(水) 2学期終業式
- 1/7(木) ・3学期始業式
・学年評定のお知らせ
・第3回 i テストの結果のお知らせ
・第4回進路希望調査(1/8㍻)
- 1/14(木)～15(金)・18(月)
3学期個人懇談会(公立受検を希望する場合)

公立高校の受検校とその選抜方法(推薦、特色、一般)についての最終決定の場になります。

- 1/20(水) ・推薦委員会[公立]
・推薦委員会の結果通知
- 3/5(金) ・卒業式(予定)

入試日程等

【県内私立高校・専修学校】

- 1/6(水)～8(金) 推薦・特色入試の願書受付
- 1/8(金)～15(金) 一般入試の願書受付
- 1/13(水) 推薦・特色入試
- 1/14(木) 推薦・特色入試合格者発表
※一部、期日以外あり
- 1/20(水)～22(金) 私立・専修学校一般入試
- 1/25(月)～27(水) 私立高校・専修学校一般入試合格者発表

【公立通信制高校】

- 1/12(水)～1/19(火)
旭陵・刈谷東 前期選抜の出願期間
- 1/24(日) 旭陵・刈谷東 前期選抜の入学検査
- 1/27(水) 旭陵・刈谷東 前期選抜の合格者発表
- 1/28(木)～2/4(木)
フレキシブルハイスクールの出願期間
- 2/12(金) フレキシブルハイスクールの入学検査
- 2/18(木) フレキシブルハイスクールの合格者発表
- 3/4(木)～3/11(木)
フレキシブルハイスクールの第2次
選抜出願期間
- 3/11(木)～3/18(木)
旭陵・刈谷東 後期選抜の出願期間
- 3/16(火) フレキシブルハイスクールの第2次
選抜入学検査
- 3/17(水) フレキシブルハイスクールの第2次
選抜合格者発表
- 3/23(火) 旭陵・刈谷東 後期選抜の入学検査
- 3/24(水) 旭陵・刈谷東 後期選抜の合格者発表

【公立定時制高校】

- 1/28(木)～2/4(木) 出願期間
- 2/5(金) 志願変更
- 2/12(金) 入学検査
- 2/18(木) 合格者発表
- 3/4(木)～3/11(木)
第2次選抜の出願期間
- 3/12(金) 第2次選抜の志願変更
- 3/16(火) 第2次選抜の入学検査
- 3/17(水) 第2次選抜の合格者発表

※第2次選抜は、高校によって実施されない場合もあります。

【公立全日制高校】

- 1/25(月)～2/1(月)
推薦・特色選抜の出願期間
 - 2/4(木) 公立全日制推薦・特色選抜の入試
※特色選抜は2/5日(金)にも実施する場合がある。
 - 2/8(月) 公立全日制推薦・特色選抜の合格者発表
 - 2/8(月)～1/6(火) 一般選抜の出願期間
 - 2/17(水) 一般選抜の志願変更
 - 2/24(水) 公立全日制一般選抜・学力検査
 - 2/25(木) 公立全日制一般選抜・Aグループ面接
(実施する高校のみ)
 - 2/26(金) 公立全日制一般選抜・Bグループ面接
(実施する高校のみ)
 - 3/8(月) 公立全日制一般選抜合格者発表
 - 3/8(月)～1/1(木) 第2次選抜の出願期間
 - 3/12(金) 第2次選抜の志願変更
 - 3/16(火) 第2次選抜の入学検査
 - 3/17(水) 第2次選抜の合格発表
- ※第2次選抜は、高校によって実施されない場合もあります。

【県立特別支援学校】

- 1/7(木)～1/4(木)
高等特別支援学校・大府もちのき特別支援
学校桃花校舎の入学願書提出期間
- 1/26(火) 高等特別支援学校・大府もちのき特別支援
学校桃花校舎の入学選考
- 2/2(火) 高等特別支援学校・大府もちのき特別支援
学校桃花校舎の合格者発表
- 2/3(水)～9(火)
特別支援学校高等部の入学願書提出期間
- 2/16(火) 特別支援学校高等部入学選考
- 2/26(金) 特別支援学校高等部合格者発表

【近隣の国立高等専門学校】

岐阜工業高等専門学校

- 12/14(月)～1/6(水)
推薦選抜WEB出願エントリー期間
- 1/4(月)～7(木)
推薦選抜願書受付期間
- 1/15(金)～2/9(金)
学力選抜WEB出願エントリー期間
- 1/16(土) 推薦選抜検査日
- 1/20(水) 推薦選抜合格内定
- 1/26(火)～2/2(火)
学力選抜願書受付期間
- 1/27(水) 推薦選抜入学確約書提出期限
- 2/14(日) 学力選抜検査日

- 2/19(金) 推薦選抜・学力選抜合格発表
- 2/26(金) 学力選抜入学確約書提出期限(正午必着)

豊田工業高等専門学校

- 12/1(火)～1/7(木)17時
推薦選抜インターネット出願受付期間
(入学願書WEB入力・検定料払込)
- 12/1(火)～1/21(木)17時
学力選抜インターネット出願受付期間
(入学願書WEB入力・検定料払込)
- 12/14(月)～1/8(金)
推薦選抜の写真票・推薦書・調査書受付期間
- 1/9(土) 推薦選抜面接日
- 1/15(金) 推薦選抜合格者発表
- 1/18(月)～2/2(金)
学力選抜の写真票・推薦書・調査書受付期間
- 1/22(金) 推薦選抜入学確約書提出期限
- 2/14(日) 学力選抜検査日
- 2/17(水) 学力選抜合格者発表
- 2/22(月) 学力選抜入学確約書提出期限

【県内の国立高校】

愛知教育大学附属高等学校

- 1/6(水)～8(金) 推薦出願
- 1/8(金)～1/9(火) 一般出願
- 1/13(水) 推薦入試
- 1/14(木) 推薦合格発表
- 1/26(火) 一般入試
- 1/29(木) 一般合格発表
- 1/29(木)～2/3(水) 入学手続き

名古屋大学教育学部附属高等学校

- 12/7(月)～1/9(土)
特別推薦枠登録期間
- 12/7(月)～2/2(火)
一般出願登録期間
- 12/16(水)～2/3(水)
特別推薦枠出願書類提出期間
- 12/16(水)～2/4(木)
一般出願書類提出期間
- 12/25(金) 特別推薦枠一次審査(書類審査)
合格発表
- 1/11(月) 特別推薦枠二次審査
- 1/15(金) 特別推薦枠二次審査合格発表
(手続き23日まで)
- 1/19(火) 一般学力検査・作文・面接
- 1/22(金) 一般合格者発表(手続き29日まで)

Ⅲ 令和9年度の入学試験（入学者選抜）の概要

1 国立高等専門学校

- ❖ 主に工業系と商船系の技術者に必要な教養と体系的な専門知識を身につけることを目的とした5年制の学校です。5年間に一般科目と専門科目を一貫した課程のもとで学び、中には大学の教養課程と同じものも含まれます。
- ❖ 卒業生の就職率は高く、大企業からの求人が多数あるようです。進学についても、各大学の第3学年に編入学したり、2年間の専攻科に入学したりすることができます。
- ❖ 各科の募集人員が40名で、合格レベルは高いものとなっています。女子の割合も年々増加している傾向にあります。
- ❖ 詳細は右記の国立高等専門学校のWebサイト等で確認してください。



- ❖ 近隣の国立高等専門学校

 [独立行政法人国立高等専門学校機構](#)

令和9年度入試日程		豊田工業高等専門学校	岐阜工業高等専門学校
募集学科		機械工学科、電気・電子システム工学科 情報工学科、環境都市工学科 建築学科	機械工学科、電気情報工学科 電子制御工学科、環境都市工学科 建築学科
推薦選抜	願書受付期間	①インターネット出願受付期間 令和8年12月 1日(火) 9時から 17日(木) 17時まで ②郵送書類受付期間 令和8年12月14日(月)から 18日(金)まで	①WEB出願エントリー期間 令和8年12月14日(月)から 令和9年 1月 6日(水) 17時まで ②出願書類は郵送のみ 令和9年 1月 4日(月)から 7日(木) 17時まで
	検査日	令和9年1月9日(土)	令和9年1月16日(土)
	合格内定者発表	令和9年1月15日(金)	令和9年1月20日(水)
学力選抜	願書受付期間	①インターネット出願受付期間 令和8年12月 1日(火) 9時から 令和9年 1月21日(木) 17時まで ②郵送書類受付期間 令和9年 1月18日(月)から 22日(金)まで	①WEB出願エントリー期間 令和9年1月15日(金)から 令和9年1月29日(金) 17時まで ②出願書類受付期間 令和9年1月26日(火)から 2月 2日(火) 17時まで
	検査日	令和9年2月14日(日)	令和9年2月14日(日)
	合格者発表	令和9年2月17日(水)	令和9年2月19日(金)
WEBサイト		 豊田工業高等専門学校 	 岐阜工業高等専門学校 

(1) 推薦選抜について

- ❖ 受験する学校を第1希望とし、合格したら必ず入学するという強い意志があることが必要です。
- ❖ 日頃の生活態度、進学する目的意識、3年2学期の学習評定、部活動や生徒会活動等の実績、資格、欠席日数などをもとに、中学校の校内推薦委員会の承認を経て校長の推薦を得た場合に受験できます。
- ❖ 検査日は、明確な志望動機、ものづくりに対する興味や入学後の意欲等を有しているかなど、面接が行われます。

(2) 学力選抜について

- ❖ 推薦選抜で不合格となり、あらかじめ学力検査による選抜による入学を志願する場合は、合格内定者発表後に各学校の指示に従って、受験することができます。
- ❖ 学力検査によって国語、数学、理科、英語、(※社会)の学力を評価されます。
(※社会) 岐阜高専では社会科の検査は実施されないが、豊田高専では社会科も実施。

(3) その他

- ❖ 国立高等専門学校の受験の詳細については各校の実施要項で確認してください。
- ❖ 国立高等専門学校と他の高校等との併願を考える場合は、受験日程を確認の上で検討し、担任ともよく相談の上ですすめてください。

2 愛知県の私立高等学校

- ❖ 「建学の精神」に基いた独自の教育方針があり、その方針に合わせた学科やコースに特色があります。校風や部活動などで公立との違いがあります。
- ❖ 男子校、女子校、男女共学校があります。
- ❖ 系列の大学に、有利な条件で進学できる学校があります。
- ❖ **学費は公立に比べて高くなっていますが、国と愛知県の授業料・入学金補助制度により、多くの学校で授業料が実質無償化、軽減されています。なお、令和8年度から所得制限は廃止されています。また、生徒の国籍などの要件がありますので、詳しくは受験希望の学校にお問い合わせください。**
- ❖ その他、詳細は各高校のWebサイトや愛知県の私立高校生徒募集要項で確認してください。



[愛知県の私学助成について](#)



[私学あいち助成特集版](#)



[愛知県の私立高校生徒募集要項](#)

(1) 推薦入試について

- ❖ 受験する学校を第1希望とし、原則として合格したら必ず入学手続きをするという強い意志がある者が受験します。
- ❖ 一般入試に先駆けて1月中旬に行われます。
- ❖ 募集人員の半数以上を推薦入試で受け入れています。

① 推薦基準

- ・ 日頃の生活態度、進学する目的意識、3年2学期を中心とした学習評定、部活動や生徒会活動等の業績、資格、欠席日数等、各高校によって基準が定められます。
- ・ これらの基準を満たした上で、中学校の推薦委員会の承認を経て校長の推薦を得る必要があります。

② 出願書類(オンライン出願の場合はデータとなります。)

- ・ 入学願書 ・ 推薦書 (必要な学校のみ。中学校が作成) ・ 調査書 (中学校が作成)

③ 出願期間

- ・ 令和9年1月6日(水)～1月8日(金)
- ・ 多くがWEBによる出願となります。(出願のタイミングは中学校からお知らせします。)

④ 受験料の納付

- ・ 学校によって違いますが、12,000～20,000円程度です。納付方法はほとんどがオンライン決済(クレジットカード決済)、コンビニ決済、ATMや銀行窓口振込などになっていますが、詳細は各高校の募集要項でご確認ください。

⑤ 試験日

- ・ 令和9年1月13日(水)

⑥ 選考方法

- ・ 書類審査と国・数・英の学力試験、面接や作文などを実施するところが多いようですが、高校によって違いますので、詳細は各学校の募集要項でご確認ください。

⑦ 合格発表

- ・ 令和9年1月14日(木)
※多くの学校はこの日にWeb上で発表されます。詳細は各学校の募集要項でご確認ください。

⑧ 合格者手続

- ・ 「合格」のときは、各高校の指定する期限までに入学金などの費用をすべて納入しなければいけませんので、募集要項でご確認ください。
- ・ 合格していても、期限までに納入しなかった場合は入学資格を失います。

(2) 特色入試について

- ❖ 一部の高校で実施されます。
- ❖ 受験する学校を第1希望とし、原則として合格したら必ず入学手続きをするという強い意志がある者が受験します。
- ❖ 高校側が示す「求める生徒像」に対し、スポーツや芸術などさまざまな分野で活躍する生徒が自己推薦の形で受験するものです。(自己推薦書等を提出させる高校が多いです。)
- ❖ 中学校長の推薦がなくても受験できます。
- ❖ 募集人数は一般と推薦を合わせた募集数全体に対し若干名～10%程度で、書類審査、自己推薦書や個別面接、学力試験などが課されます。
- ❖ 「自己アピール」としてプレゼンテーションや実技の時間を設ける学校もあります。
- ❖ 試験日・合格発表は推薦入試と同日です。
- ❖ 合否の判断は一般入試と同様に、当日の成績が重視されます。
- ❖ 不合格の場合、その高校の一般入試を受験できます。

① 出願書類(オンライン出願の場合はデータとなります。)

- ・ 入学願書・自己推薦書・調査書(中学校が作成)など、学校によって違うので各学校の募集要項でご確認ください。

② 出願期間

- ・ 令和9年1月6日(水)～1月8日(金)
- ・ Webによる出願となります。

③ 受験料の納付

- ・ 学校によって異なりますが、12,000～20,000円程度です。納付方法はほとんどがオンライン決済(クレジットカード決済)、コンビニ決済、ATMや銀行窓口振込などになっていますが、詳細は各高校の募集要項でご確認ください。

④ 試験日

- ・ 令和9年1月13日(水)

⑤ 選考方法

- ・ 学校によって異なりますが、書類審査と国数英の3教科試験、面接、作文やプレゼンテーションなどを実施するところが多いです。
- ・ 詳細は各学校の募集要項でご確認ください。

⑥ 合格発表

- ・ 令和9年1月14日(木)
- ※多くの学校はこの日にWeb上で発表されます。詳細は各学校の募集要項でご確認ください。

⑦ 合格者手続

- ・ 「合格」のときは、各高校の指定する期限までに入学金などの費用をすべて納入しなければいけませんので、募集要項でご確認ください。
- ・ 合格していても、期限までに納入しなかった場合は入学資格を失います。

(3) 一般入試について

- ❖ 主に学力検査で合否を決定する入試です。一部の学校で面接を実施します。
- ❖ 愛知県の私立高校の一般入試試験日は1/20(水)～22(金)の3日間のうちのいずれかの日で行われます。よって入試日の異なる最大3校まで受験が可能となります。
- ❖ 一般入試は、他の私立高校や公立高校への出願(併願)が可能です。公立高校が第一志望の場合、私立高校は一般入試で受験することになります。
- ❖ 一般入試による募集人員は全体の半数以下と少なく受験者も多いため、合格レベルは推薦入試より高くなります。
- ❖ 合格しても入学を辞退できます。また、指定日までに前納金を納めるなどの手続をしなければ、入学意志がないものとして見なされ、入学資格を失いますのでご注意ください。

① 出願書類(オンライン出願の場合はデータとなります。)

- ・ 入学願書 ・ 調査書(中学校が作成)

② 出願期間

- ・ 出願日・出願方法は中学校でお知らせしますが、多くがWeb出願です。
- ・ 令和9年1月8日(金)～1月15日(金)

③ 受験料の納付

- ・ 学校によって違い、12,000～20,000円かかります。納付方法は、各学校の募集要項でご確認ください。

④ 試験日

- ・ 令和9年1月20日(水)～22日(金)のうちの1日
- ・ 試験日が違う学校を選べば3校まで受験することができますが、体力的な面を考えて、2校までの受験にする生徒が多いようです。公立の押さえとして1校受験、さらに挑戦したい学校もあれば2校、3校を受験...という考え方です。

1月20日(水)	1月21日(木)	1月22日(金)
愛工大名電	東海	愛知
愛み大瑞穂	東邦	啓明学館
桜花学園	同朋	至学館
菊華	名古屋大谷	中京大附中京
享栄	名経大高蔵	東海学園
椋山女学園	名古屋工業	名古屋葵大
大同大大同	栄徳	名城大附
名古屋	清林館	愛知黎明
名経大市邨	大成	修文学院
名古屋国際	中部大春日丘	聖カピタニオ
名古屋たちばな	日本福祉大付	聖霊
愛知啓成	※詳細は高校のウェブページや、私立高校ガイドブックをご覧ください。 ※国際高等学校国際科の選考期日は個別に決まります。	
星城		
誠信		
滝		
中部大第一		
誉		

⑤ 選考方法

- ・ 学校によって違いますが、書類審査と国社数理英の5教科試験を実施するところが多いです。3教科や、3教科のうち1～2教科を選択して受ける場合もあります。
- ・ 詳細は各学校の募集要項でご確認ください。

⑥ 合格発表

- ・ 令和9年1月25日(月)～27日(水)
- ・ 多くの学校はこの期間にWeb発表されますが、一部そうでない学校もありますので、詳細は各学校の募集要項でご確認ください。

⑦ 合格者手続

- ・ 「合格」のときは、各学校の期限までに前納金(2万円程度)を納入しなければいけませんので、募集要項でご確認ください。期限厳守ですので、期限までに納入しなかった場合は入学の資格を失い、受験の意味がなくなります。私立を複数受験して2校以上に合格した場合は、志望順位の高い学校だけに前納金を納入します。

3 岐阜県の私立高等学校

- ❖ 一宮市からは時間的にみても通学圏内にあること、愛知県の私立学校と試験日が違うことなどから、受験の選択肢として考えることができます。
- ❖ 愛知県の私立高校と同様に、各学校には建学の精神がありその方針に合わせた学科やコースに特色があります。校風や部活動などで公立との違いがあります。
- ❖ 各学校ごとに受験日程を設定し、推薦入試や一般入試などが実施されます。また、愛知県の中学生を対象に別日程や別会場を設定している学校もありますので、詳細は各学校の募集要項等で確認してください。
- ❖ 合格した際の合格手続き(入学金の納付等)が愛知県の公立高校の合格者発表後に設定している学校が多いので、愛知県の公立高校との併願を考える上での一つの判断材料にもなります。
- ❖ 愛知県の私学助成制度を利用することはできませんが、独自の助成金制度を設けている学校があります。
- ❖ 各学校の詳細は、岐阜県私学振興会や各学校Webサイト等でご確認ください。
[岐阜県私立中学高等学校協会](#)

- ❖ ここ数年間で一宮市からの受験実績のある学校を紹介します。

高等学校名	所在地	学科名	試験日※
鶯谷	岐阜市	普通科	【推】1/10(日) 【一般】1/10(日)
富田	岐阜市	国際科 普通科 商業科	【推】1/23(土) 【一般専願】1/24(日) 【一般併願】1/10(日)
岐阜東	岐阜市	普通科	【推・自己推】1/23(土) 【一般専願】1/24(日) 【一般併願】1/10(日)
渚美	岐阜市	普通科 商業科 保育科 衛生看護科(女子)	【推】1/24(日)【一般】1/24(日)
岐阜聖徳学園	岐阜市	普通科 商業科	【推】1/30(土)【一般】1/31(日)
聖マリア	岐阜市	普通科	【推・一般】1/23(土)
岐阜女子	岐南町	普通科 食物科	【推】1/23(土) 【一般】1/24(日)
大垣日本大学	大垣市	普通科	【推】1/24(日) 【一般】1/31(日)

※試験日は推薦と一般入試の日程です。学校によっては、他の入試方法も実施されている場合があります。詳しくは高等学校の募集要項をご覧ください。

[令和9年度岐阜県私立高等学校生徒募集要項](#)



4 愛知県の専修学校高等課程

- ❖ 職業に関する知識や技能を習得し、卒業後に就職する割合が高いのが特徴です。
- ❖ ほとんどの学校が通信制高等学校と技能連携しており、高等学校の卒業資格を取得できます。
- ❖ 推薦入試と一般入試が実施されます。
- ❖ 推薦入試、一般入試の受験日は愛知県の私立高校と同一日です。よって、受験の考え方は愛知県の私立高校と同様に考えてください。
- ❖ **学費は公立に比べて高くなっていますが、国と愛知県の授業料・入学金補助制度により、多くの学校で授業料が実質無償化、軽減されています。なお、令和8年度から所得制限は廃止されています。また、生徒の国籍などの要件がありますので、詳しくは受験希望の学校にお問い合わせください。**
- ❖ 詳細は各高校のWebサイトや愛知県専修学校高等課程生徒募集要項で確認してください。



[愛知県の私学助成について](#)

[私学あいち助成特集版](#)

[愛知県専修学校高等課程生徒募集要項](#)

【主な専修学校高等課程】

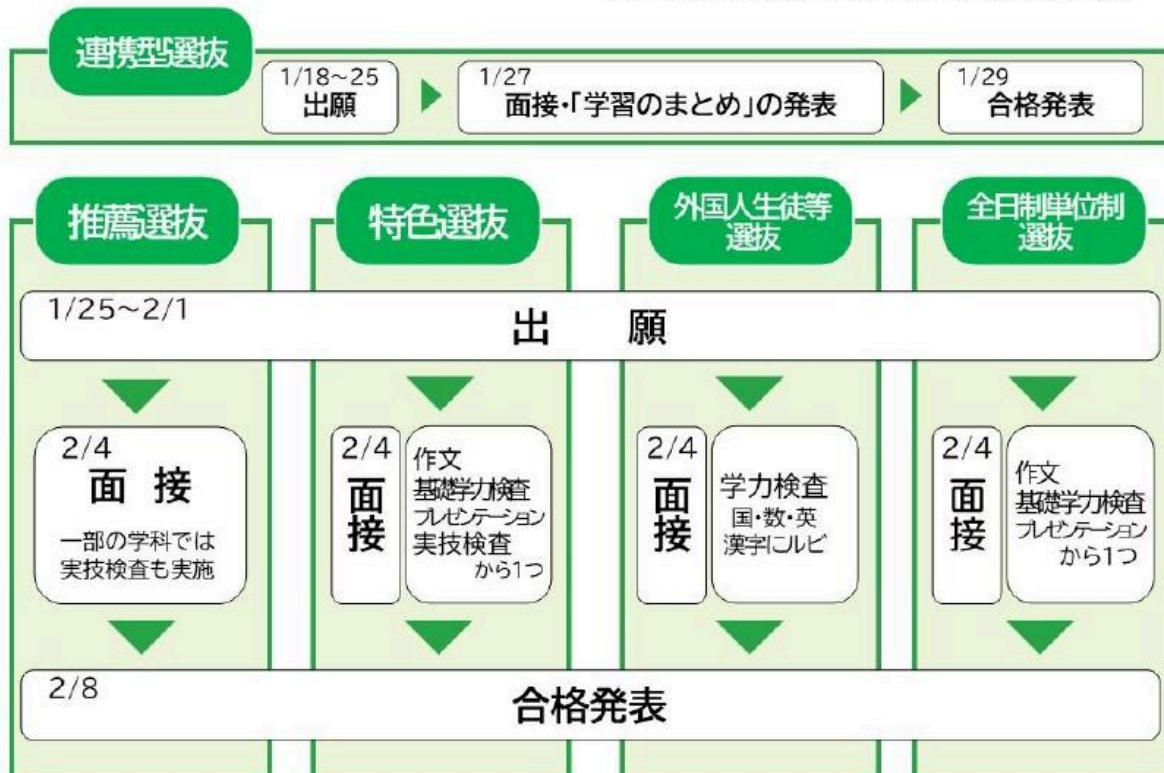
学校名	所在地	学科名	試験日
愛知自動車整備専門学校	弥富市	自動車科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
東海工業専門学校熱田校	名古屋市熱田区	建築科 機械科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
名古屋工学院専門学校	名古屋市熱田区	普通科 電気科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
専修学校さつき調理・福祉学院	名古屋市中村区	調理師科 福祉科 キャリア科	【推】1/13(水) 【一般】1/22(金)
専修学校東洋調理技術学院	名古屋市西区	調理師科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
名古屋調理師専門学校	名古屋市瑞穂区	調理師本科	【推】1/13(水) 【一般】1/20(水)
あいちビジネス専門学校	名古屋市中区	総合ビジネス科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
菊武ビジネス専門学校	名古屋市東区	ビジネス情報科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
名古屋情報専門学校	名古屋市緑区	情報処理科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
愛知芸術高等専修学校	名古屋市中村区	総合芸術学科 美容師学科	【推】1/13(水) 【一般】1/22(金)
あいち造形デザイン専門学校	名古屋市千種区	デザイン科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
サンデザイン専門学校	名古屋市熱田区	クリエイト科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)等
専修学校クラーク高等学院	名古屋市中村区	国際総合学科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
名古屋ユマニテク調理製菓専門学校	名古屋市中村区	総合学科	【推】1/13(水) 【一般】1/22(金)
ニュートン高等専修学校	名古屋市中村区	総合教養科	【推】1/13(水) 【一般】1/22(金)
名古屋福祉専門学校	名古屋市中区	福祉科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
名古屋総合美容専門学校	名古屋市中区	美容科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)
名古屋スクールオブミュージック &ダンス専門学校	名古屋市中区	総合音楽科	【推】1/13(水) 【一般】1/21(木)

5 愛知県の公立高等学校【全日制課程】

入試の流れ

※ 日付は令和9(2027)年度入試の日程です。

1
月



2
月

一般選抜 海外帰国生徒選抜



3
月

(1) 推薦選抜について

- ❖ 学力検査を行わず、中学校から提出された推薦書と調査書、面接の結果等の資料により、総合的に判定して合格者を決定します。
- ❖ 全ての高等学校・学科において、一般選抜に先立ち実施します。特色選抜と同日に行われます。
- ❖ 入学検定料が納付された後に志願変更はできません。

① 出願資格・推薦基準

- ・ 次の条件をすべて満たす必要があります。
 - ア 中学校、義務教育学校若しくは特別支援学校の中学部を卒業する見込みの者であること。
 - イ 原則として保護者とともに県内に住所を有する者。
 - ウ その学科を志望する意志が強く、動機・理由が明白・適切であること。
 - エ 専門学科・総合学科においては適性及び関心・興味を有すること。
 - オ 人物及び学習成績が優れていること。
- ・ 各高校の推薦基準を満たしている必要があります。推薦基準は各学校の「推薦選抜実施要項」に記載されたものとなります。
 - ㊦ 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動(特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。)のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者
 - ㊧ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者
 - ㊨ 人物が優れており、「調査書情報」の「学習の記録」が優秀で、学習活動において他の模範となる者
 - ㊩ 農業又は水産に関する学科においては、進路希望が明確で、将来、当該学科に関する職業に就く、またはその後継者となる意志を有する者
- ・ 上の条件および推薦基準を満たした上で、校内推薦委員会の承認を経て校長の推薦を得ることが必要です。

② 出願についての制限

- ・ 通学区域については、普通科は尾張・三河の2学区、専門学科及び総合学科は全県1学区とし、入学志願者は1校1学科に限り出願することができます。
- ・ 推薦選抜と、特色選抜・外国人生徒等選抜・全日制単位制選抜・連携型選抜を併願することはできません。

③ 合格者数

- ・ 普通科では募集人員の10%程度から15%程度、専門学科・総合学科では募集人員の30%～45%程度です。

 [令和9年度愛知県公立高等学校入学者の募集について](#)



④ 入学志願者が取るべき手続き

入学志願者は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 出願基本情報(全志願者が登録します)
- ・ 志望先高等学校(全志願者が登録します)
- ・ 本人住所証明(普通科志願者で、本人と保護者の現住所が異なり、かつ、両者の現住所の学区が異なる場合のみ登録します)
- ・ 学区外高等学校出願申請
(普通科志願者で、一家転住等の余儀ない事情のために学区外の高校へ入学志願する場合のみ登録します)
- ・ 恵まれない環境に該当することの証明
(①推薦基準の①に該当する場合のみ、これに該当することを証明する書類の画像データを登録します)

詳しくは「 [令和9年度 愛知県公立高等学校をめざす皆さんへ](#)裏面」をご覧ください。



- ・ 農業経営状況、水産業経営状況
(当該学科の志願者のみ、将来それに関する職業に就くか、その後継者になる意志ある場合のみ登録します。)
- ・ 音楽科、スポーツ科学科に関する届出
(当該学科を志願する場合のみ登録します。)
- ・ 欠席に関する自己申告 [長期欠席者等にかかる選抜方法について](#)
(中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方の学年のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の志願者のうち、希望する者が欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負等を登録します。ただし、「年間30日程度以上の欠席日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。)
- ・ 受検配慮申請
(障害がある場合、病気・事故により負傷をしている場合などに、面接等において配慮が必要な場合のみ登録します。また、当該入学志願者のうち、希望する者は、中学校生活の状況、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録することができます。)
- ・ 音楽科の特別検査に関する書類の提出
(音楽科への入学を志願する者のうち、声楽専攻志望者と、打楽器専攻志望者で小太鼓を選択する者)



⑤ 中学校が取る手続き

中学校は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 入学志願者が登録した情報の承認
- ・ 推薦情報の登録
- ・ 調査書情報の登録



⑥ 入学検定料の納付

[公立の入試の調査書情報が変わります](#)

- ・ 県立高校、名古屋市立高校ともに入学検定料は2,200円です。
- ・ 入学検定料はWeb出願システムで、クレジットカード決済、ペイジー決済、コンビニ決済のいずれかの方法を選択して納付します。
- ・ 納付した検定料は還付されません。

⑦ 出願手続きの期間

- ・ 令和9年1月25日(月)9時から同年2月1日(月)15時まで ※特色選抜の出願日と同じ。
- ・ Web出願システムによる出願をします。

⑧ 受検票の交付

- ・ 高校が出願登録情報を受け付けた後、Web出願システムにより「受検票」が交付されます。
- ・ 志願者は、これを「自分で印刷」し、面接等の当日に持参します。
- ・ 入学検定料が納付された後に、出願した高校、学科を変更することはできません。

⑨ 入学検査

- ・ 令和9年2月4日(木) ※特色選抜と同じ日。音楽科は令和9年2月4日(木)及び同年2月5日(金)
- ・ 学力検査はありません。全ての高校で面接が行われます。
- ・ デザイン科(名古屋市立工芸高校のみ)、スポーツ科学科、音楽科、美術科への入学志願者に対しては特別検査(実技検査)も行われます。なお、国際英語科、国際教養科及び国際探究科の特別検査は、今年度は実施されません。詳細は近日中に愛知県教育委員会高等学校教育課の[愛知県公立高等学校入学者選抜のページ](#)で公開される「令和9(2027)年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」のp78～79をご覧ください。
- ・ 推薦選抜の可否判定は、推薦情報や調査書情報等の出願時に中学校が登録する情報及び面接の結果等を資料として、総合的に行われます。なお、推薦情報には「推薦の理由」と「第2学年の学習の記録」が登録されます。なお、特別検査を実施する学科にあっては、その結果も資料に加えられます。

⑩ 合格者の発表日時及び方法

- ・ 令和9年2月8日(月) 11時30分にWeb出願システムのマイページから合否結果を確認できます。

⑪ その他

- ・ 志願者が病気または事故による負傷のため、検査日当日に指定された場所で受検できない場合は、特別検査を除き保健室又は病院で受検することができる場合があります。
- ・ 急病又は交通事故等のやむを得ない理由の時に一般選抜で実施されている「追検査」はありません。
- ・ 推薦選抜に合格しなかったときは、一般選抜では別の高等学校に出願することができます。

(2) 特色選抜について

- ❖ その高等学校・学科で学びたいという強い意志があることに加えて、その高等学校・学科の教育内容に関連する明確な進路意識のある人、学科やコースに関連する分野で優れた能力と顕著な実績のある人、地域社会に貢献する意志のある人が出願できます。
- ❖ 特色選抜を実施する高等学校・学科がそれぞれの特色や求める生徒像を示すので、参考にしてください。
- ❖ 将来の進路目標やその高校・学科で学ぼうとする意欲、学科やコースに関連する分野での能力・実績などが重視されます。
- ❖ 一部の高校・学科において、一般選抜に先立ち実施されます。推薦選抜と同日に行われます。
- ❖ 入学検定料が納付された後に志願変更はできません。

① 出願資格

- ・ 次の条件をすべて満たすことが必要です。
 - ア 中学校、義務教育学校若しくは特別支援学校の中学部卒業見込者、または卒業した者であること。
 - イ 原則として保護者とともに県内に住所を有する者。
 - ウ 農業、工業、商業、水産、家庭、看護および福祉に関する学科においては、その高校・学科の特色ある教育内容に関連する明確な進路目標と当該高等学校・学科で学習する強い意欲を有する者。
 - エ 理数、体育、外国語及び国際教養に関する学科、総合学科並びにコースを設置する、もしくは特色ある教育課程を有する普通科については自然科学、人文・社会科学、スポーツなど特定の分野で優れた能力と顕著な実績を有する者。
 - オ 地域に根ざし、地域貢献を特色とする高等学校については、当該高等学校で学習する強い意欲と地域社会に貢献する意志を有する者。

② 出願についての制限

- ・ 通学区域については、普通科は尾張・三河の2学区、専門学科及び総合学科は全県1学区とし、入学志願者は1校1学科に限り出願することができます。
- ・ 特色選抜と、推薦選抜・外国人生徒等選抜・全日制単位制選抜・連携型選抜を併願することはできません。

③ 合格者数

- ・ 各高校・学科の募集人員の20%程度までを上限に、各高校が「何人程度まで」と具体的な人数の枠を設けます。また、推薦選抜の定員枠とは別に定めています。

[「特色選抜」を実施する高等学校・学科及び入学検査の内容について](#)



④ 入学志願者が取るべき手続き

入学志願者は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 出願基本情報（全志願者が登録します）
- ・ 志望先高等学校（全志願者が登録します）
- ・ 志望理由（全志願者が登録します）
- ・ 本人住所証明
（普通科志願者で、本人と保護者の現住所が異なり、かつ、両者の現住所の学区が異なる場合のみ登録します）
- ・ 学区外高等学校出願申請
（普通科志願者で、一家転住等の余儀ない事情のために学区外の高校へ入学志願する場合のみ登録します）
- ・ スポーツ科学科に関する届出（当該学科を志願する場合のみ登録します）
- ・ 欠席に関する自己申告 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方の学年のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の志願者のうち、希望する者が欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負等を登録します。ただし、「年間30日程度以上の欠席日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。）
- ・ 受検配慮申請 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（障害がある場合、病気・事故により負傷をしている場合などに、入学検査等において配慮が必要な場合のみ登録します。また、当該入学志願者のうち、希望する者は、中学校生活の状況、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録することができます。）
- ・ プレゼンテーションの発表資料
（入学検査においてプレゼンテーションを実施する高校への入学を志願する者のみ提出します。提出方法や検査時の取り扱いは高校において決定され、特色選抜実施要項に示されます。）

⑤ 中学校が取る手続き

中学校は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 入学志願者が登録した情報の承認
- ・ 調査書情報の登録

⑥ 入学検定料の納付

- ・ 県立高校、名古屋市立高校ともに入学検定料は2,200円です。
- ・ 入学検定料はWeb出願システムで、クレジットカード決済、ペイジー決済、コンビニ決済のいずれかの方法を選択して納付します。
- ・ 納付した検定料は還付されません。

⑦ 出願手続きの期間

- ・ 令和9年1月25日(月)9時から同年2月1日(月)15時まで ※推薦選抜の出願日と同じ。
- ・ Web出願システムによる出願をします。

⑧ 受検票の交付

- ・ 高校が出願登録情報を受け付けた後、Web出願システムにより「受検票」が交付されます。
- ・ 志願者は、これを「自分で印刷」し、入学検査の当日に持参します。
- ・ 入学検定料が納付された後に、出願した高校、学科を変更することはできません。

⑨ 入学検査

- ・ 令和9年2月4日(木) ※推薦選抜と同じ日 [ただし5日(金)に及ぶこともあります]。受検票は各自印刷し、当日持参します。
- ・ すべての受検者に対して面接が行われます。
- ・ 面接のほか、作文、基礎学力検査、プレゼンテーション、実技検査のうち、高校が定めるいずれか一つが行われます。

- ・ 作文を行う場合は、400字以下(40分)、または600字以下(50分)で行われ、テーマは検査当日に発表されます。配点は20点です。
- ・ 基礎学力検査を行う場合は、国語数学及び英語の基礎的な内容について、45分間で実施する記述式問題で、配点は30点です。ただし、聞き取り検査は行われません。
- ・ 実技検査の場合は、スポーツの種目別実技、紙を使った立体の構成のいずれかを高校が選択します。
- ・ プレゼンテーション実施校における面接は、プレゼンテーションに続けて実施されます。(2日間に分けて実施する場合を除く。)面接時間は、プレゼンテーション(質疑応答を含む。)とは別に、高等学校において設定されます。
- ・ プレゼンテーションの発表テーマは高等学校で設定され、特色選抜実施要項に示されます。検査時間は、1人当たり20分以内で、受検者の発表に対する質疑応答の有無は、高等学校において決定され、発表と質疑応答の時間配分とともに、高等学校が作成する特色選抜実施要項に示されます。検査場への持ち込みを認める発表資料は、紙の資料のみとし、A4判片面印刷で2枚までです。資料の提出方法や検査時の取り扱い(評価者に配付する、書画カメラ等で投影する等)については、高等学校において決定されます。
- ・ 特色選抜の可否判定は、調査書情報や志望理由等の出願時に登録された情報及び面接等入学検査の結果を資料として、総合的に行われます。

⑩ 合格者の発表日時及び方法

- ・ 令和9年2月8日(月)11時30分にWeb出願システムのマイページから可否結果を確認できます。

⑪ その他

- ・ 志願者が病気または事故による負傷のため、検査日当日に指定された場所で受検できない場合は、特別検査を除き保健室又は病院で受検することができる場合があります。
- ・ 急病又は交通事故等のやむを得ない理由の時に一般選抜で実施される「追検査」はありません。
- ・ 特色選抜で合格しなかったときは、一般選抜では別の高等学校に出願することができます。

(3) 一般選抜について

- ❖ Aグループ、Bグループの高校から1校ずつ、計2校まで志願できます。1校のみの志願も可能です。
- ❖ 学力検査は1回です。2校に志願した場合は、学力検査の成績を第1志望校と第2志望校の両方で用いられます。
- ❖ 一般選抜の面接を実施するかどうかは、各高校が決定します。
- ❖ 調査書、学力検査の成績等の資料によって総合的に決定した校内順位をもとに、合格者が決定されます。
- ❖ 全ての高校・学科で実施します。

① 出願資格

- ・ 次の条件をすべて満たす必要があります。
 - ア 中学校、義務教育学校若しくは特別支援学校の中学部の卒業見込者、または卒業した者であること
 - イ 原則として保護者とともに県内に住所を有する者

② 出願についての制限

- ・ 通学区域並びに群及びグループについては次のとおりとし、入学志願者は、A・Bグループのいずれか一方、又は双方の高等学校へ出願することができます。ただし、異なった群に属する普通科の2校へは出願することができません。

<普通科>

- ・尾張学区は、学区内の全ての高校を第1群・第2群の二つの群に分け、第1群・第2群の双方に属する1・2群共通校が設けられます。
- ・普通科の志望者は、原則として尾張学区の高校のみ出願できます。

<専門学科及び総合学科>

- ・全県1学区とし、県内の全ての高等学校をA・B二つのグループに分けられます。

- ・1校につき1学科に限り出願できます。
- ・2校へ出願する場合は、一方を第1志望校とし、他方を第2志望校とします。
- ・2校を選ぶ場合は次のようになります。(普通科の高等学校が尾張学区の場合)

ア 尾張学区第1群のP校を第1志望校とした場合(P校が1・2群共通校である場合も同じ。)

①P校-Q校、②P校-U校の組み合わせが可能です。すなわち、普通科を2校選ぶ場合は、第2志望校を同一群の別グループから選び、また、第2志望校を専門学科・総合学科から選ぶ場合は、別グループから選ぶことになります。

このことは、P校が1・2群共通校である場合も同じです。したがって、P校-S校、P校-R校、P校-T校のように、二つの群にまたがって出願したり、同一グループの2校へ出願したりすることはできません。

イ 専門学科のT校を第1志望校とした場合

①T校-U校、②T校-Q校、③T校-S校の組み合わせが可能です。しかし、T校-P校、T校-R校のように同じグループの組み合わせは認められません。

- ・2校とも1・2群共通校の場合や、1・2群共通校との相手校が専門学科や総合学科の場合、1・2群共通校1校のみへ出願する場合も、群をあらかじめ決めて出願します。

③ 入学志願者が取るべき手続き

入学志願者は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・出願基本情報（全志願者が登録します）
- ・志望先高等学校（全志願者が登録します）
- ・本人住所証明
(普通科志願者で、本人と保護者の現住所が異なり、かつ、両者の現住所の学区が異なる場合のみ登録します)
- ・学区外高等学校出願申請
(普通科志願者で、一家転住等の余儀ない事情のために学区外の高校へ入学志願する場合のみ登録します)
- ・音楽科、スポーツ科学科に関する届出
(当該学科を志望する場合のみ)
- ・音楽科の特別検査に関する書類の提出
(音楽科への入学を志願する者のうち、声楽専攻志望者と打楽器専攻志望者で小太鼓を選択する者)
- ・欠席に関する自己申告
(中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方の学年のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の志願者のうち、希望する者が欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負等を登録します。ただし、「年間30日程度以上の欠席日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。)
- ・受検配慮申請 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
(障害がある場合、病気・事故により負傷をしている場合などに、面接等において配慮が必要な場合のみ登録します。また、当該入学志願者のうち、希望する者は、中学校生活の状況、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録することができます。)

群及びグループ配置図(令和9年度入試)

[] は1・2群共通校の数で内数。専門学科・総合学科の学科数は延べ数

学科区分	普通科			専門学科 総合学科
学区	尾張学区		三河学区	県内全域
群	尾張第1群	尾張第2群	三河群	
Aグループ	P校 (18校 [6])	R校 (20校 [6])	(18校)	T校 (43校 1校舎)
Bグループ	Q校 (21校 [9])	S校 (22校 [9])	(20校)	U校 (49校)

- ・ 長期欠席者等選抜申請 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
(やむを得ない事情により、中学校の第3学年における欠席等の日数が出席しなければならない日数の半分以上である者が申請できます。中学校卒業見込者、中学校卒業者が対象です。ただし、「第3学年における欠席等の日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。志願者は欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録します。この選抜方法の適用を申請する者は、上記の「欠席に関する自己申告」について重ねて登録は不要です。なお、この選抜方法の適用者は、面接を実施する高等学校においては面接を「個人面接」とすること、及び調査書情報の「学習の記録」を長期欠席者の事情に配慮し、プラス面で参考にできる場合に参考として取り扱うなどの配慮がなされます。)

④ 中学校が取る手続き

中学校は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 入学志願者が登録した情報の承認
- ・ 調査書情報の登録

⑤ 入学検定料の納付

- ・ 入学検定料は県立高校と名古屋市立高校ともに同じで、**1校受検・2校受検どちらの場合でも2,200円のみです。**
- ・ 入学検定料はWeb出願システムで、クレジットカード決済、ペイジー決済、コンビニ決済のいずれかの方法を選択して第1志望校の学校へ納付します。
- ・ 納付した検定料は還付されません。

⑥ 出願手続きの期間

- ・ 令和9年2月8日(月)9時から同年2月16日(火)15時まで
- ・ Web出願システムによる出願をします。

⑦ 受検票の交付

- ・ 高校が出願登録情報を受け付けた後、Web出願システムにより「受検票」が交付されます。
- ・ 志願者は、これを「自分で印刷」し、入学検査の当日に持参します。

⑧ 志願変更

- ・ 既に出願した高校又は学科を**1回に限り**変更することができます。
ただし、推薦選抜、特色選抜では志願した高校の志願変更・志望順位の変更は認められません。
 - ア **普通科**間の志願変更においては、**同一群内に限り認められます。**
 - イ **第1志望校、第2志望校のいずれか1校1学科に限り認められます。**
 - ウ **志願変更を行う場合は、志望順位の変更が認められます。ただし、志望順位のみの変更はできません。**
 - エ 出願校を変更する制度であり、**出願する高校の追加はできません。**
 - オ 同じ高校であっても、複数の学科が併設されている高校では、異なる学科への志願変更は可能です。
- ・ 志願変更希望者は、志願変更にあたって、Web出願システムにより、「志願変更情報」に加え、必要に応じた申請を登録します。なお、志願変更にあたって、**新たな入学検定料は不要です。**
- ・ 志願変更期日 令和9年2月17日(水) 9時から15時まで

＜注意＞ 志願変更される場合は、早急に学校までご連絡ください。原則として、保護者の方でWeb出願システムによって志願変更していただきます。

⑨ 受検辞退

- ・ 出願後(受検票の交付後)に何らかの理由で受検を辞退する場合は、**辞退の決断をしたら、速やかに中学校までご連絡ください。**まや、当日の受検を欠席した場合(面接等の入学検査の一部を欠席した場合を含む。)も受検を辞退した扱いとなります。
- ・ 国立高専を第一志望にして公立高校を併願する場合、国立高専に合格した場合は、Web出願システムによって受検辞退の届出が必要になる場合があります。
- ・ 原則として、保護者の方にWeb出願システムによって、受検辞退を届け出ていただきます。(定時制課程及び通信制課程の前期選抜を欠席した者についても同様。)
- ・ 一般選抜において2校へ出願した者が、第1志望校の受検を辞退し、第2志望校は受検する場合、学力検査は第1志望校で受検することになります。

⑩ 学力検査 令和7年2月26日(水)

- ・ 第1志望校で受検します。受検票は各自印刷し、当日持参します。
- ・ 入学志願者全員に対し、学力検査(マーク式)が行われます。
- ・ 2校に志願した場合は、学力検査の成績を第1志望校と第2志望校の両方で用います。
- ・ 学力検査には定規(分度器の付いていないもの)が必要です。
- ・ 時計については、計算機能及び通信機能の付いていないものであれば、学力検査場に持ち込むことができます。用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、下敷き、鉛筆削り用具、定規)はごく普通のものとし、賞品・景品の類は避けます。下敷きは無地のものに限りです。
- ・ 過去5年間の全日制課程の学力検査問題、定時制課程の作文・基礎学力検査問題等は、愛知県県民相談・情報センターの情報コーナーで閲覧することができます。また、愛知県教育委員会高等学校教育課のウェブページ「[愛知県公立高等学校入学者選抜](#)」のにも一部掲載しています。
- ・ 学力検査の実施日程

時 間	内 容
9:10～ 9:55	第1時限 国語
10:20～11:05	第2時限 数学
11:30～12:15	第3時限 社会
12:15～13:05	昼食
13:15～14:00	第4時限 理科
14:25～(10分程度)	第5時限 英語<聞き取り>
14:50～15:30	英語<筆記>

⑪ 面接

- ・ 面接は一部の高等学校・学科で実施されます。面接を実施するかどうかは各学校で決定されます。

[一般選抜における各高等学校の面接実施の有無及び校内順位の決定方式について](#)



- ・ 質問内容は、中学校での生活、趣味、特技、将来の進路希望などです。中学校で学んだ教科の内容について質問することはありません。なお、会場は出願先の学校です。

Aグループ令和9年2月25日(木)

Bグループ令和9年2月26日(金)

⑫ 特別検査

- ・ デザイン科(名古屋市立工芸高校のみ)、スポーツ科学科、音楽科、美術科で実施します。詳細は近日中に愛知県教育委員会高等学校教育課の[愛知県公立高等学校入学者選抜のページ](#)で公開される「令和9(2027)年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」のp86～87をご覧ください。
- ・ なお、会場は、出願先の学校です。

Aグループ令和9年2月25日(木)

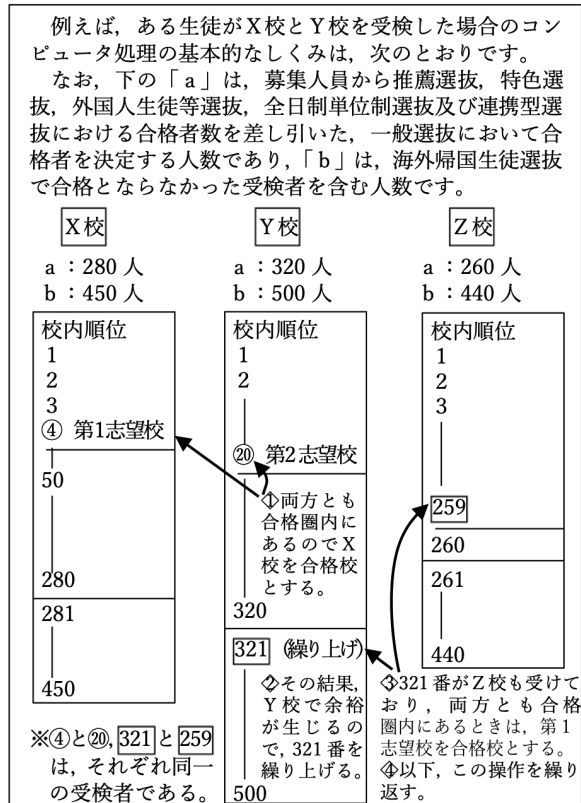
Bグループ令和9年2月26日(金)

⑬ 一般選抜における校内順位・合格者の決定

- まず、各高等学校において、調査書情報、第一志望校で受検した学力検査の成績、面接(面接は実施する高校のみ)等の結果に基づいて総合的に評価し、校内順位を決定します。次に、県教育委員会は、各高等学校において決定された校内順位のデータをコンピュータ処理します。コンピュータ処理の概要は次のとおりです。

各高等学校で決定された校内順位に基づき、高等学校ごとに合格圏内(募集人員から推薦選抜、特色選抜及び特別選抜における合格者数を差し引いた、一般選抜において合格者を決定する人数内)にあるときは、第1志望校の合格候補者となります。また、その受検者が第2志望校では合格候補者とならないようにチェックします。すなわち、2校受検者が第1志望校、第2志望校ともに合格圏内にあるときは、第1志望校の合格候補者とし、第2志望校の合格候補者とはしません。その結果、第2志望校では、合格圏内の人数に余裕が生じることになるため、この余裕が生じた人数分だけ、受検者の中から校内順位に従って繰り上げ、その高等学校の合格候補者となります。この繰り上げのしくみを模式的に示したものが右の図表です。最後に、各高等学校において選抜委員会が開かれ、コンピュータ処理の結果作成された合格候補者の名簿に基づいて、合格者が決定されます。

コンピュータ処理のしくみ



- 校内順位の決定は、以下に示す評定得点と学力検査合計得点を使い、各高校があらかじめ選択するⅠ～Ⅴの「校内順位の決定方式」によって得られた数値を基礎資料として、総合的に行われます。

[一般選抜における各高等学校の面接実施の有無及び校内順位の決定方式について](#)



- 校内順位は総合的に決定します。その際、第1志望の受検者も第2志望の受検者も同じ条件で行いますので、志望順位による有利、不利はありません。

◎評定得点と学力検査合計得点

評定得点

調査書情報の評定合計(最高 45)を2倍した数値で、最高は 90 点

学力検査合計得点

国語、数学、社会、理科及び外国語(英語)の各教科の得点の合計で、最高点は110点(22点×5教科)

◎校内順位の決定方式

Ⅰ	評定得点	+	学力検査合計得点
Ⅱ	[評定得点×1.5]	+	学力検査合計得点
Ⅲ	評定得点	+	[学力検査合計得点×1.5]
Ⅳ	[評定得点×2]	+	学力検査合計得点
Ⅴ	評定得点	+	[学力検査合計得点×2]

⑭ その他

- ・ 志願者が病気または事故による負傷のため、検査日当日に指定された場所で受検できない場合は、特別検査を除き保健室又は病院で受検することができる場合があります。(病院での受検の場合は、医師の診断により、保健室での受検ができないと認められ、受検場所として、病院内で個室が確保される場合に限りま
す。)
- ・ 受検者が急病又は交通事故等のやむを得ない理由により、学力検査の当日に受検できなくなった場合、その理由が高等学校長に正当と認められた場合は「**追検査**」を受検することができます。ただし、受検中の急病の場合は、既に受検した教科と受検中の教科を除きます。追検査を希望する者は、Web出願システムによって、「追検査受検申請」の登録を行うとともに、診断書等の追検査を受ける理由を証明する書類の画像データを登録します。
 - 実施日 令和9年3月2日(火)
 - 学力検査の実施方法は一般選抜と同じです。追検査を受検した教科の得点は、学力検査の当該教科の得点として扱われます。
 - 面接や特別検査がある場合は、実施する学校のみ、原則として他の受検者と同じ期日で実施されます。
- ・ スポーツ科学科、音楽科、美術科、国際英語科、国際教養科、及び国際探究科については、該当教科の評定を1.5倍する傾斜配点とします。
- ・ 国際英語科、国際教養科、及び国際探究科については傾斜配点を行い、英語の得点を1.2倍します。

⑮ 合格者の発表日時及び方法

- ・ 令和9年3月8日(月) 10時にWeb出願システムのマイページから可否結果を確認できます。

⑯ 合格辞退

- ・ 何らかの理由で合格を辞退する場合は、辞退決定後、合格発表の当日中に中学校までご連絡ください。その後、3月9日(火)11時までに保護者の方でWeb出願システムにより合格辞退を届け出ていただきます。

(4) その他の特別な選抜 ※ 詳しくお聞きになりたい方は、早めに中学校までご相談ください。

★連携型選抜

- ・ 美和高校、衣台高校、福江高校、新城有教館高校作手校舎、田口高校の連携型中高一貫教育校において実施される選抜です。
- ・ 対象となるのは連携中学校に在籍する生徒となります。
- ・ 連携型選抜は推薦選抜等との併願はできません。



★全日制単位制選抜 [全日制単位制高等学校にかかる入学者選抜の入学検査について](#)

- ・ 対象となる高校・学科は以下の通りです。

守山高校(普通科)、日進高校(普通科)、武豊高校(普通科)、豊野高校(普通科)、幸田高校(普通科)、時習館高校(普通科)、御津あおば高校(普通科)、佐屋高校(農業科・家庭科)、中川青和高校(キャリアビジネス科)

- ・ 推薦選抜と同じ日に実施されます。
- ・ 中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年、または両方のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の生徒が対象となります。
- ・ 全日制単位制選抜は推薦選抜等との併願はできません。
- ・ 志願者全員に対して個人面接が行われるほか、作文、基礎学力検査、プレゼンテーションのうち高校が定めるいずれか1つ行います。
- ・ この選抜に合格した場合、一般選抜に出願することはできません。

★海外帰国生徒選抜

- 対象となる高校・学科は以下の通りです。

昭和高校(普通科)、中村高校(普通科)、豊田西高校(普通科)、岡崎西高校(普通科)、豊橋東高校(普通科)、名東高校(国際英語科)、千種高校(国際教養科)、津島高校(国際探究科)、刈谷北高校(国際探究科)

- 海外帰国生徒選抜は、一般選抜と同じ日に実施されます。
- 原則として、「2年以上継続して海外に保護者とともに在住していたこと」「令和7年3月1日以降に帰国した者であること」などが条件となります。

★外国人生徒等選抜

- 対象となる高校・学科は以下の通りです。

名古屋南高校(普通科)、小牧高校(普通科)、東浦高校(普通科)、衣台高校(普通科)、安城南高校(普通科)、御津あおば高校(普通科)、豊田工科高校(工業科)、豊川工科高校(工業科)、中川青和高校(キャリアビジネス科)、岩倉総合高校(総合学科)、知立高校(総合学科)、豊橋西高校(総合学科)

- 外国人生徒等選抜は、推薦選抜と同じ日に実施されます。
- 「本人又は保護者が外国籍であること」や「入国後の在日期間が6年以内であること」などが条件となります。
- 推薦選抜等との併願はできません。

(5) 第2次選抜について

- ❖ 推薦選抜、特別選抜、一般選抜の結果、合格者が募集人員に満たない高等学校・学科においては、第2次選抜が実施され、一般選抜合格発表の3月8日(月)に募集人数が発表されます。
- ❖ 高等学校の募集人員が満たされれば、実施されません。

① 出願資格、出願についての制限

- 令和8年度入学者選抜において、**愛知県内**の国立・公立・私立のいずれかの高等学校を受検し、いずれの高等学校にも合格していない者が受検できます。(高等学校を受検せず、高等学校と技能連携している専修学校のみを受検した者は、技能連携先の高等学校の可否に関わらず出願できません。)
- 合格した事実がある後に辞退した者は、一度合格した事実があるので出願資格はありません。
- 群及びグループにかかわらず、学区内の高等学校のうち1校1学科に限り出願することができます。

② 入学志願者が取るべき手続き、中学校が取る手続き、入学検定料の納付

- 一般選抜の入学志願者が取るべき手続き、中学校が取る手続き、入学検定料の納付に準じます。

③ 出願手続きの期間

- 令和9年3月8日(月)12時から同年3月11日(木)15時まで
- Web出願システムによる出願をします。

④ 受検票の交付

- 高校が出願登録情報を受け付けた後、Web出願システムにより「受検票」が交付されます。
- 志願者は、これを「自分で印刷」し、入学検査の当日に持参します。

⑤ 志願変更

- ・ 令和9年3月12日(金) 9時から15時まで
- ・ 1回に限り志願変更することができます。ただし、普通科間の志願変更においては、同一学区内に限り認められます。志願変更の手続きにあたっては、一般選抜の志願変更に準じます。

⑥ 入学検査

- ・ 令和9年3月16日(火)※通信制課程(フレキシブルハイスクール)、定時制課程の第2次選抜日と同日。
- ・ 作文200字以上400字以下(40分)配点20点、学力検査Ⅰ[国数英](45分)30点、学力検査Ⅱ[社理](30分)20点及び面接等が実施されます。
- ・ デザイン科(名古屋市立工芸高校のみ)、スポーツ科学科、音楽科、美術科は上記に加え特別検査を実施します。
- ・ 追検査は行われません。

⑦ 合格者の発表日時及び方法

- ・ 令和9年3月17日(水)10時にWeb出願システムのマイページから合否結果を確認できます。

⑧ その他

- ・ ①～⑦以外については、全日制一般選抜に準じて実施されます。

6 愛知県の公立高等学校【定時制課程】

- ❖ 働きながら高等学校教育を受けたい人や、自分のペースで学びたい人のための高校です。
- ❖ 学習内容等については、全日制課程で学ぶ教科・科目と同様です。
- ❖ 修業年限は3年以上ですが、4年間で卒業するのが一般的です。卒業資格は全日制課程と同じです。
- ❖ 定時制高校の多くは、夜間に学習する夜間定時制課程ですが、昼間に学習する昼間定時制課程もあります。
- ❖ 県立では、単位制による昼間定時制課程を城北つばさ高校、一宮起工科高校、佐屋高校、武豊高校、豊野高校、刈谷東高等学校、及び御津あおば高校に設置しています。卒業を目的とせず、特定の科目が学習できる科目履修生も募集しています。
- ❖ **入学者選抜の結果、合格者が募集人員に満たない高等学校・学科において第2次選抜を実施します。**
- ❖ さらに詳しい情報は愛知県教育委員会のWebサイト等で確認してください。

 [定時制・通信制教育 - 愛知県](#)



① 出願資格

- ・ 次の条件をすべて満たす必要があります。
 - ア 中学校卒業見込者、または中学校を卒業した者であること
 - イ 原則として保護者とともに県内に住所を有する者

② 出願についての制限

- ・ 1校1学科に限り出願することができます。
- ・ 全日制推薦選抜、特色選抜、一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位選抜、連携型選抜、通信制前期選抜と併願することができません。
- ・ フレキシブルハイスクールの通信制課程と併願することはできません。

③ 入学志願者が取るべき手続き

入学志願者は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 出願基本情報（全志願者が登録します）
- ・ 志望先高等学校（全志願者が登録します）
- ・ 欠席に関する自己申告 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方の学年のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の志願者のうち、希望する者が欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負等を登録します。ただし、「年間30日程度以上の欠席日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。）
- ・ 受検配慮申請 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（障害がある場合、病気・事故により負傷をしている場合などに、面接等において配慮が必要な場合のみ登録します。また、当該入学志願者のうち、希望する者は、中学校生活の状況、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録することができます。）
- ・ 長期欠席者等選抜申請 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（やむを得ない事情により、中学校の第3学年における欠席等の日数が出席しなければならない日数の半分以上である者が申請できます。中学校卒業見込者、中学校卒業者が対象です。ただし、「第3学年における欠席等の日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。志願者は欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録します。この選抜方法の適用を申請する者は、上記の「欠席に関する自己申告」について重ねて登録は不要です。なお、この選抜方法の適用者は、面接を実施する高等学校においては面接を「個人面接」とすること、及び調査書情報の「学習の記録」を長期欠席者の事情に配慮し、プラス面で参考にとできる場合に参考として取り扱うなどの配慮がなされます。）
- ・ 外国人生徒等受検配慮申請
（希望する者のみ登録します。申請できる対象は、外国籍を有する者、または、保護者が外国籍を有するなど特別な事情があると認められる者であること。小学校第4学年以上の学年に編入学した者、もしくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者、または入国後の在日期間が6年以内の者です。）

④ 中学校が取る手続き

中学校は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 入学志願者が登録した情報の承認
- ・ 調査書情報の登録

⑤ 入学検定料の納付

- ・ 県立高校、名古屋市立高校ともに入学検定料は950円です。
- ・ 入学検定料はWeb出願システムで、クレジットカード決済、ペイジー決済、コンビニ決済のいずれかの方法を選択して納付します。なお、納付した検定料は還付されません。

⑥ 出願手続きの期間

- ・ 令和9年1月28日(木)9時から同年2月4日(木)15時まで
- ・ Web出願システムによる出願をします。

⑦ 受検票の交付

- ・ 高校が出願登録情報を受け付けた後、Web出願システムにより「受検票」が交付されます。
- ・ 志願者は、これを「自分で印刷」し、入学検査の当日に持参します。

⑧ 志願変更

- ・ 定時制課程において1回に限り志願変更することができます。
- ・ 志願変更期日 令和9年2月5日(金)9時～15時
＜注意＞ 志願変更される場合は、早急に中学校までご連絡ください。原則として、保護者の方でWeb出願システムによって志願変更していただきます。

⑨ 入学検査

- ・ 令和9年2月12日(金)
- ・ 入学志願者全員に対し、面接が行われます。
- ・ 基礎学力検査や作文の有無は高等学校によって異なります。また、基礎学力検査を実施する場合、国語、数学及び外国語(英語)の基礎的な内容の記述式問題で行われます。

 [公立高等学校入学者選抜における定時制課程及び通信制課程の入学者選抜について](#)



- ・ 入学検査場は出願先の高等学校です。追検査は行われません。
- ・ 入学者の選抜の合否判定は、調査書情報、面接の結果、作文や基礎学力検査の成績(実施校のみ)などの資料により、総合的に行われます。

⑩ 入学検査の実施日程

時 間	内 容
9:10～ 9:55	第1時限 基礎学力検査(実施する場合)
10:20～11:00	第2時限 作文
作文(基礎学力検査)の終了後に	面接

- ・ 外国人生徒等にかかる受検上の配慮を申請した入学志願者に対しては、基礎学力検査については漢字にルビを付した問題となり、面接については、外国人生徒等の事情に配慮しつつ、個人面接が行われます。

⑪ 合格者の発表日時及び方法

- ・ 令和9年2月18日(木)10時にWeb出願システムのマイページから合否結果を確認できます。
(合格者は、通信制課程後期選抜に出願できません。)

⑫ 第2次選抜

- ・ 入学者選抜の結果、合格者が募集人員に満たない高等学校・学科において第2次選抜が実施されます。
なお、第2次選抜を実施する高等学校・学科および募集人員の発表は令和7年2月18日(火)に行われます。
- ・ 出願資格については、上記の全日制一般選抜の第2次選抜に準じます。
- ・ 出願手続き、志願変更や入学検査については上記の定時制課程の選抜に準じます。
- ・ 出願手続きの期間

令和9年3月4日(木)9時から同年3月11日(木)15時まで

- ・ 志願変更期日

令和9年3月12日(金)9時～15時

- ・ 入学検査の実施期日

令和9年3月16日(火)

- ・ 合格発表

令和9年3月17日(水)10時

7 愛知県の公立高等学校【通信制課程】

- ❖ 仕事や家庭の事情や健康上の理由などで毎日通学できないが、高等学校教育を受けたいと希望する人たちのための高校です。
- ❖ 教科書と学習書に基づいて自学自習し、レポートにまとめて添削指導を受けるとともに、学校が指定する日曜日等に出校して面接指導(スクーリング)を受けます。
- ❖ 3年以上(一般的には4年間)在学して74単位以上修得し、学校行事等に参加すれば卒業できます。
- ❖ 県立では、旭陵高等学校と刈谷東高等学校の2校があります。出願できる学区の制限はありません。

- ❖ さらに詳しい情報は愛知県教育委員会のWebサイト等で確認してください。

 [定時制・通信制教育 - 愛知県](#)



① 出願資格

- ・ 次のアに該当し、かつ、イまたはウのいずれかに該当することが必要です。
 - ア 中学校卒業見込者、または中学校を卒業した者であること
 - イ 原則として県内に住所を有する者
 - ウ 特別の事由により本県の通信教育を受けることが適当であると認められた者

② 出願についての制限

- ・ 前期選抜、後期選抜のそれぞれについて、1校1学科に限り出願することができます。
- ・ 前期選抜は、全日制推薦選抜、特色選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜および連携型選抜、定時制課程と併願することができません。

③ 入学志願者が取るべき手続き

入学志願者は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 出願基本情報（全志願者が登録します）
- ・ 志望先高等学校（全志願者が登録します）
- ・ 欠席に関する自己申告 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方の学年のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の志願者のうち、希望する者が欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負等を登録します。ただし、「年間30日程度以上の欠席日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。）
- ・ 受検配慮申請 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（障害がある場合、病気・事故により負傷をしている場合などに、面接等において配慮が必要な場合のみ登録します。また、当該入学志願者のうち、希望する者は、中学校生活の状況、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録することができます。）
- ・ 長期欠席者等選抜申請 ※詳細は推薦選抜の同項目に記載のリンクをご覧ください。
（やむを得ない事情により、中学校の第3学年における欠席等の日数が出席しなければならない日数の半分以上である者が申請できます。中学校卒業見込者、中学校卒業者が対象です。
ただし、「第3学年における欠席等の日数」には、学校を欠席した日以外に、「保健室登校などの別室登校をした日」、「教育支援センター等で相談したり、指導を受けたりした日」や「自宅でICT等を活用して学習活動を行った日」を含めることができます。志願者は欠席の理由、志望の動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録します。この選抜方法の適用を申請する者は、上記の「欠席に関する自己申告」について重ねて登録は不要です。なお、この選抜方法の適用者は、面接を実施する高等学校においては面接を「個人面接」とすること、及び調査書情報の「学習の記録」を長期欠席者の事情に配慮し、プラス面で参考にできる場合に参考として取り扱うなどの配慮がなされます。）
- ・ 外国人生徒等受検配慮申請
（希望する者のみ登録します。申請できる対象は、外国籍を有する者、または、保護者が外国籍を有するなど特別な事情があると認められる者であること。小学校第4学年以上の学年に編入学した者、もしくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者、または入国後の在日期間が6年以内の者です。）

④ 中学校が取る手続き

中学校は、出願に当たって、Web出願システムにより次の情報を登録します。

- ・ 入学志願者が登録した情報の承認
- ・ 調査書情報の登録

⑤ 入学検定料の納付

- ・ 必要としません。

⑥ 出願手続きの期間

- ・ 前期選抜：令和9年1月12日（火）9時から同年1月19日（火）15時まで
- ・ 後期選抜：令和9年3月11日（木）9時から同年3月18日（木）15時まで
- ・ Web出願システムによる出願をします。

⑦ 受検票の交付

- ・ 高校が出願登録情報を受け付けた後、Web出願システムにより「受検票」が交付されます。
- ・ 志願者は、これを「自分で印刷」し、作文、面接の当日に持参します。(作文、面接を実施する場合のみ)

⑧ 入学者の選抜

- ・ 前期選抜: 令和9年1月24日(日)
- ・ 後期選抜: 令和9年3月23日(火)
- ・ 入学検査は、旭陵高等学校、刈谷東高等学校とともに学力検査及び作文は行わず、面接のみを行います。
- ・ 追検査は行われません。
- ・ 入学者の選抜の可否判定は、調査書情報や自己申告の内容(登録した者のみ)、面接や作文(実施校のみ)等を資料として、総合的に行われます。

⑨ 合格者の発表日時及び方法

- ・ 前期選抜: 令和9年1月27日(水)10時にWeb出願システムのマイページから可否結果を確認できます。
- ・ 後期選抜: 令和9年3月24日(水)12時にWeb出願システムのマイページから可否結果を確認できます。
- ・ 前期選抜の合格者は、全日制推薦選抜、特色選抜、一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜、定時制課程、通信制(旭陵高等学校、刈谷東高等学校)の後期選抜に出願することはできません。ただし、フレキシブルハイスクールの通信制課程については出願することができます。

8 愛知県の公立高等学校【フレキシブルハイスクール】

- ❖ フレキシブルハイスクールとは、全日制・昼間定時制・通信制の3課程を一つの学校内に置き、3課程間をフレキシブルに行き来して学べる新しいタイプの高等学校です。愛知県立佐屋高等学校(農業科・家庭科)、愛知県立武豊高等学校(普通科)、愛知県立豊野高等学校(普通科)及び愛知県立御津あおば高等学校(普通科)をフレキシブルハイスクールとして設置します。

[フレキシブルハイスクールについて](#)



- ❖ 既存の全日制課程を、興味や関心に合わせて自由に科目を選択し、自分のペースで学ぶことができる「単位制」に改編しました。また、小規模の昼間定時制課程と通信制課程を新たに併置。
- ❖ 通信制課程のスクーリングを原則平日に実施。スクーリングのない日にも登校し、教員への質問や自習が可能。
- ❖ 他の課程に「転籍」し、同じ学校で学び続けることが可能。また、「併修」制度により、在籍する課程とは異なる課程の科目を履修し、単位を取得することが可能。

① 出願資格

- ・ 上記通信制課程に準じます。

② 出願についての制限

- ・ 1校1学科に限り出願することができます。
- ・ 前期選抜は、全日制推薦選抜、特色選抜、一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜および連携型選抜、定時制課程と併願することができません。

③ 入学志願者が取るべき手続き

- ・ 上記通信制課程に準じます。

④ 中学校が取る手続き

- ・ 上記通信制課程に準じます。

⑤ 入学検定料の納付

- ・ 必要としません。

⑥ 出願手続きの期間

- ・ 令和9年1月28日(木)9時から同年2月4日(木)15時まで
- ・ Web出願システムによる出願をします。

⑦ 受検票の交付

- ・ 高校が出願登録情報を受け付けた後、Web出願システムにより「受検票」が交付されます。
- ・ 志願者は、これを「自分で印刷」し、当日に持参します。

⑧ 入学者の選抜

- ・ 令和9年2月12日(金)
- ・ 入学者の選抜の可否判定は、調査書情報や自己申告の内容(登録した者のみ)に加えて、面接、作文及び基礎学力検査のいずれか一つ若しくは二つ又はその全てを資料として、総合的に行われます。
- ・ 追検査は行われません。

 [定時制課程 及び通信制課程の入学選抜について](#)



⑨ 合格者の発表日時及び方法

- ・ 令和9年2月18日(木)10時にWeb出願システムのマイページから可否結果を確認できます。
- ・ 合格者は、旭陵高等学校及び、刈谷東高等学校の通信制課程後期選抜に出願することはできません。

⑩ 第2次選抜

- ・ 合格者が各高等学校・学科の募集人員に満たない場合、第2次選抜を行います。
- ・ 出願手続きの期間
令和9年3月4日(木)9時から同年3月11日(木)15時まで
- ・ 入学検査の実施期日
令和9年3月16日(火)
- ・ 合格発表
令和9年3月17日(水)10時
- ・ 出願資格等については上記の全日制一般選抜の第2次選抜に準じます。

9 広域通信制の高等学校・サポート校

(1) 広域通信制高等学校

- ❖ 通信制高校は、通学できる範囲の違いで、広域と狭域のふたつに分かれますが、入学できる地域が3都道府県以上の全国規模で生徒を募集している通信制高校です。
- ❖ 広域通信制高校は、基本的に私立校です。
- ❖ 広域通信制高校は、地域によっては校舎がないこともありますが、そういった地域でもスクーリングが行えるように協力校や学習センターといった外部の教育機関と連携して環境を整えています。
- ❖ 普段はサポート校に通って、年に数日のスクーリングだけ通信制高校の本校に通うタイプもあります。
- ❖ 通信制高校は、全日制高校や定時制高校と同じく、所定の単位を取得して高卒資格を得る学校です。
- ❖ 通信制高校は、自宅などで個別に学習を進め、郵送やインターネットでレポートを提出し、スクーリングを受講し、テストを受けて単位を取得していきます。そのため学年という概念が薄く、自分のペースで学習できることが通信制高校の特長です。個々の状況に応じて柔軟に学習できることが通信制高校メリットです。

(2) サポート校

- ❖ サポート校は、主に通信制高校に通う生徒を支援するために設けられた学びの場(教室)です。塾のようなものとイメージするとわかりやすいかもしれません。
- ❖ サポート校は学校ではないので、サポート校に通うだけでは高校卒業資格は得られません。
- ❖ 駅など、交通の便が良い立地にあることが多く、講師やカウンセラーが所属していることが多いです。
- ❖ 通信制高校と同時に入学するパターンが多いですが、気をつけたいのは別途学費がかかることです。
- ❖ 通学日数は週1～5回程度まで、サポート校ごとにさまざまです。
- ❖ サポート校の主目的は、通信制高校を3年で卒業するための支援を行うことであるため、学習支援のための授業を行ったり、学習計画の相談に乗ったり、精神的なケアをしたりします。
- ❖ 多様な事情を抱えた生徒たちに対応するためのカウンセラーが所属し、きめ細やかなサポートを行っている場合があります。通信制高校では学校に通う機会が少ないですが、サポート校に通うことが友だちづくりにつながることもあります。

10 愛知県公立特別支援学校高等部

❖ 特別支援学校への進学は、個別相談を通じて行っています。

[愛知県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者の募集について](#)



(1) 高等特別支援学校及び豊川特別支援学校本宮校舎、大府もちのき特別支援学校桃花校舎

- ① 入学願書提出期間
 - ・ 令和9年1月7日(木)から令和9年1月14日(木)まで ※受付は、土曜日及び日曜日を除く。
- ② 志願変更期間
 - ・ 令和9年1月19日(火)から令和9年1月20日(水)まで
- ③ 入学者選考実施期日
 - ・ 令和9年1月26日(火)
- ④ 合格者発表期日
 - ・ 令和9年2月2日(火)

(2) 上記1以外の特別支援学校の高等部

- ① 入学願書提出期間(Webによる出願ではありません。)
- ・ 令和9年2月3日(水)から令和9年2月9日(火)まで
- ② 入学者選考実施期日
 - ・ 令和9年2月16日(火)
- ③ 合格者発表期日
 - ・ 令和9年2月26日(金)

IV 就職について

❖ 中学卒業者における主だった就職方法は以下の通りです。いずれにしても、就職を考えている場合は、早めに担任までお知らせください。

1 保護者の知人などによる縁故紹介による就職

2 中学校を通して公共職業安定所（ハローワーク）の紹介による就職

- 中学校卒業予定者にかかる求人・求職の受理、職業相談及び職業紹介は、原則ハローワークが行います。
- 求人のある起業における就労条件などを調べ、保護者や担任と相談。興味のある職場へ見学に出掛けするなどして、就職したい企業を決め、採用試験を受ける



≫ 詳細は愛知労働局「新規中学校・高等学校等卒業者の採用について」を参照してください。

3 企業内学校（学園）を経ての就職

- 企業内学校(学園)とは、企業が社内に社員の教育(企業内教育)のために設置しているものを学校(学園)と呼んでいるものです。法律上の「学校」ではありません。
- 採用試験として、筆記試験(国語・数学・英語など)、適性試験、作文、面接により選抜されます。
- 基本的にはその企業に勤務する社員が「入学」し、教育を開始することを入校、修了することを卒業ともよんでいます、学歴にはなりません。
- 企業内学校(学園)の中には、通信制高等学校と技能連携して高等学校卒業の資格を取れるようにしているところも一部であります。
- 企業の社員ですので、給料(手当)も支給され、卒業後(または入学後)は、正社員として就職できます。寮が準備されているところもあります。
- 愛知県内で中学校卒業対象には「トヨタ工業学園高等部」と「デンソー工業学園工業高校課程」があります。詳細はWebサイトなどで確認していただくとともに、選択肢として考えている場合はすぐに担任へご相談ください。(全日制の公立高校や私立高校とは、募集時期が異なります。)

資料1 愛知県公立高等学校の通学区域並びに群及びグループ分けについて

I 全日制課程普通科（下線の付いた高等学校は1・2群共通校）

全日制課程普通科の通学区域			
尾張学区		三河学区	
地域	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡、海部郡、知多郡	豊橋市、岡崎市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、新城市、知立市、高浜市、田原市、みよし市、額田郡、北設楽郡	
高等学校名		高等学校名	
群	尾張第1群	尾張第2群	三河群
Aグループ	旭丘、惟信（未来探究科を含む。）、 <u>松蔭</u> 、昭和、熱田、豊明、日進西、江南、小牧、一宮北、一宮南、津島、 <u>稲沢緑風館</u> 、半田東、 <u>常滑</u> 、 <u>内海</u> 、市立緑、市立名東 (18校)	明和、 <u>松蔭</u> 、名古屋市、瀬戸西、春日井、春日井西、高蔵寺、長久手、新川、一宮、一宮北、 <u>津島</u> 、津島北翔、 <u>稲沢緑風館</u> 、 <u>常滑</u> 、東海南、大府、 <u>内海</u> 、市立向陽、市立山田 (20校)	衣台、豊田北、豊田南、加茂丘、足助、岡崎、岡崎西、岩津、刈谷、安城、西尾東、一色、高浜、豊丘、豊橋南、福江、国府、御津あおば (18校)
	名古屋西、中村、鳴海、天白、春日井東、日進、東郷、 <u>犬山</u> 、尾北、 <u>小牧南</u> 、丹羽、一宮西、木曽川、 <u>美和</u> （地域探究科を含む。）、半田、 <u>大府東</u> 、 <u>阿久比</u> 、 <u>東浦</u> 、 <u>武豊</u> 、市立菊里、市立富田 (21校)	千種、守山、瑞陵、瀬戸、春日井東、春日井南、旭野、 <u>犬山</u> 、 <u>小牧南</u> 、西春、一宮興道、 <u>木曽川</u> 、津島東、 <u>美和</u> （地域探究科を含む。）、五条、横須賀、 <u>大府東</u> 、 <u>阿久比</u> 、 <u>東浦</u> 、 <u>武豊</u> 、市立桜台、市立北 (22校)	豊田西、豊田、豊野、松平、三好、岡崎北、幸田、碧南、刈谷北、安城東、安城南、西尾、吉良、知立東、時習館、豊橋東、成章、小坂井、蒲郡東、田口 (20校)

II 全日制課程専門学科及び総合学科

全日制課程専門学科及び総合学科の通学区域			
地域	県内全域		
学科	高等学校名		
Aグループ	農業	稲沢緑風館、半田農業、安城農林、新城有教館・作手校舎	(3校1校舎)
	工業	名古屋工科、春日井工科、一宮工科、一宮起工科、常滑、豊田工科、碧南工科、豊橋工科、市立工芸	(9校)
	商業	愛知商業、一宮商業、津島北翔、半田商業、足助、岡崎商業、豊橋商業、国府、市立若宮商業	(9校)
	家庭	一宮、大府、岩津、安城、一色、豊丘、豊橋南	(7校)
	福祉	津島北翔、高浜、宝陵	(3校)
	その他の専門学科	旭丘（美術）、明和（音楽）、津島（国際探究）、宝陵（衛生看護）、市立向陽（国際科学）、市立名東（国際英語）	(6校)
	総合	緑丘、瀬戸北総合、犬山総合、豊田東、知立、蒲郡、市立西陵	(7校)
Bグループ	農業	佐屋、猿投農林、渥美農業、田口	(4校)
	工業	愛知総合工科、瀬戸工科、小牧工科、愛西工科、半田工科、岡崎工科、刈谷工科、豊川工科、市立工業	(9校)
	商業	中川青和、春日井泉、犬山、古知野、木曽川、東海樟風、碧南、成章、市立名古屋商業	(9校)
	家庭	瑞陵、春日井泉、古知野、佐屋、桃陵、松平、吉良、成章、市立桜台	(9校)
	福祉	古知野	(1校)
	その他の専門学科	千種（国際教養）、瑞陵（理数）、尾北（国際教養）、桃陵（衛生看護）、三好（スポーツ科学）、岡崎北（理数）、刈谷北（国際探究）、三谷水産（水産）、市立菊里（音楽）	(9校)
	総合	南陽、岩倉総合、杏和、知多翔洋、岡崎東、鶴城丘、豊橋西、新城有教館	(8校)

中学校3年生・特別支援学校中学部3年生 及び保護者の皆様へ

令和8年10月

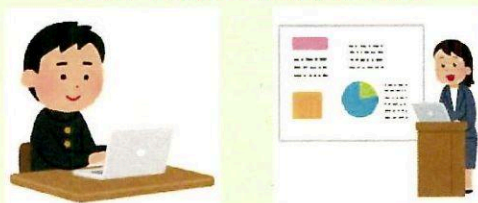
県立の高等学校・特別支援学校高等部では 生徒用端末を各自で準備していただきます

情報化社会を生きる子供たちにとって、パソコンやタブレット端末はノートや筆記具と同じように、学びに必要なツールとなっています。生徒が自分専用の端末を、必要な時にいつでも活用できるようにすることで、生徒の主体的な学びを推進してまいります。

保護者の皆様には、御理解と御協力をお願いします。

パソコンやタブレット端末の活用例

文書・資料の作成や編集



県立学校では生徒全員がMicrosoftアカウントを無料で利用できます。情報収集や探究活動のまとめなどにおいて、文書や資料を作成・編集しながら実社会で役立つ情報活用能力を身につけます。

意見やアイデアの共有



手を挙げて発言することが苦手な生徒も自分の考えを伝えやすくなります。また、生徒間でアイデアを出し合い、それらを基にして、協働的に学びを深める活動を行います。

課題の配付・提出、答案のデジタル返却



課題の配付・提出をデジタル化することで、欠席による配付漏れ、プリントの紛失がなくなります。また、全県立高校に整備しているデジタル採点システムで、採点結果をデジタル返却することで、いつでも簡単に学習の振り返りをすることができます。

画像・動画、AI(人工知能)の利活用



体育などの実技では、動画を撮影して、動作のコツや改善点などを確認することができます。英語の発音などをAIに採点してもらいながらスキルを向上させることもできます。また、生成AIを活用して地域課題の解決などにも取り組めます。

Q&A

Q どうして端末を各自で準備するのですか。

A 個人所有の端末では、アプリケーションを追加して自由にカスタマイズができ、個に応じた学習支援ツールとして端末を活用することができます。また、学校と家庭で同じ端末を使うことで、操作に迷うことなくスムーズに学習を進めることができ、学習効率の向上につながります。

Q どのような端末を準備すればよいですか。

A 学校(課程・学科)ごとに示す仕様を満たすキーボード付きの端末を準備していただきます。
なお、県教育委員会では端末を購入できるECサイトを紹介する予定です。
令和8年12月までに、学校(課程・学科)ごとの仕様を県教育委員会のWebページで公表する予定です。

Q いつまでに端末を準備する必要がありますか。

A 最も早い学校では、令和9年5月から授業で端末を活用していくことを想定しています。
なお、県が用意するECサイトで端末を購入する場合のスケジュール(予定)は次のとおりです。

令和9年3月中旬	令和9年4月中下旬以降	令和9年5月以降
合格発表後 ・合格者説明会で購入方法 及び購入支援策等を説明 ・ECサイトによる販売開始	購入した端末の納入 ※各家庭に配送されますので、 マニュアルに従って初期設定を お願いします。	学校ごとに端末の利用開始

Q 家庭にある端末を利用することはできますか。

A 学校(課程・学科)ごとに示す仕様を満たす端末であれば学校に持ち込むことができます。
具体的な端末の仕様については、準備ができ次第、県教育委員会のWebページに掲載します。

Q 端末の金額はいくらぐらいですか。

A 学校(課程・学科)ごとに示す端末の仕様や保証の有無によって異なりますが、
県が用意するECサイトでの販売予定価格は70,000～130,000円程度の見込みです。

Q 端末購入に対する補助はありますか。

A 令和8年度入学者に対する端末購入費の補助は次のとおりです。
【全額補助】低所得世帯(住民税非課税世帯等)、特別支援学校高等部入学者
【3/4補助】多子世帯、ひとり親世帯(いずれも所得制限あり)
令和9年度入学者に対する補助内容については、今後県教育委員会Webページ及び合格者説明会においてお知らせします。

Q 通信料は誰が負担するのですか。

A 学校内でのWi-Fi接続通信料は県が負担します。それ以外の通信料は各家庭での負担となります。

お問い合わせ先

愛知県教育委員会ICT教育推進課

TEL:052-954-7461 (午前9時から午後5時まで)

Mail: ictkyoiku@pref.aichi.lg.jp

Web: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ictkyoiku/byod.html>



最新の情報はこちらから